

令和7年度 さいたま市立上小小学校 第3回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和7年2月10日(火) 10:30~12:00

2 場所 会議室

3 参加者

	氏名(ふりがな)	役職等
1	新藤信夫(しんどうのぶお)	青少年育成三橋地区会会長
2	横溝 徹(よこみぞとおる)	上小町自治会会長
3	高原康子(たかはらやすこ)	主任児童委員
4	清水ちづ子(しみずちづこ)	民生児童委員
5	丸山信弘(まるやまのぶひろ)	三つ和会館館長
6	森角由希子(もりずみゆきこ)	桜木中学校校長
7	富田敏弘(とみたとしひろ)	上小小学校PTA会長
8	茶谷陽子(ちやたにようこ)	上小小学校PTA副会長
9	吉野允子(よしのみつこ)	上小小学校PTA副会長
10	大島恵美(おおしまえみ)	上小小学校校長
11	宇野直記(うのなおき)	上小小学校教頭
12	田所 周(たどころあまね)	上小小学校教務主任
13	小川美香子(おがわみかこ)	学校地域連携コーディネーター
14		

※欠席者 新藤信夫、谷原勝美、茶谷陽子、田所 周

4 内容

開会

1 学校長あいさつ

2 学校運営協議会会長あいさつ

3 報告

(1) KSSN 連絡会 (2) いじめ対策委員会

4 議事

(1) 学校評価(児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員) アンケート結果

(2) 学校自己評価システムシート

(3) 令和8年度上小小学校学校経営方針の仮承認

(4) 情報交換

5 連絡

・アンケート調査へのご協力 ・卒業証書授与式のご案内

閉会

【第3回議事詳細】

議 事	発言者	発言内容・回答等
学校長あいさつ	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・雪の影響少なく安心した。 ・本日の会は、今年度の振り返り及び反省と来年度に向けての仮承認の場である。具体的には、今年度の学校自己評価システムシートと来年度の学校経営方針について議論をさせていただきたい。
学校運営協議会会長あいさつ	富田	<ul style="list-style-type: none"> ・先日のコミュニティスクールシンポジウムについて ⇒要約すると、PTAと教育委員会が思い描いている、コミュニティスクールの課題が一致していて、その解決に向けて方向性が見えた。解決自体には困難も伴う。 上小小学校は大宮区で最初にコミュニティスクールを導入した学校である。
報告 ・KSSN（別冊）	小川	<p>P2：活動内容について。多くの団体、地域の方々にお力添えをいただいた。今年度は、木の伐採もやっていただいた。</p> <p>P3：学習支援ボランティアについて。2、3年生のまちたんけん、地域学習へのご協力をいただいた。</p> <p>P4～6：PTAの活動報告</p> <p>P7～P11：安全ネットワーク連絡会の報告</p> <p>P12～P：放課後チャレンジスクール、土曜日チャレンジスクール</p>
・いじめ対策委員会	教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の認知件数について ・今年度のいじめ重大事態調査の進捗状況について ・日頃の学級の様子について
	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ重大事態については、関係各所と連携を図りながら進めている。
	丸山	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校について。人数は几人か。みつわ会館としても、何らかの支援ができたかと考えている。
	校長	<p>いわゆる不登校については、1年に1名、4年に1名、5年に1名、6年に1名の計4名である。</p>
	高原	<p>いじめの件数の数え方を知りたい。</p>
	教頭	<p>事案1つにつき、1件とカウントする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知に至る経緯や見守り、いじめ解消に向けた手続き等について
	校長	<p>件数分の被害児童がいるわけではなく、一つのいじめ事案をもとに、事案が増えて（派生して）いくケースがある。</p>
	横溝	<ol style="list-style-type: none"> ① フリースクールは上小小学校内にあるのか。 ② あいばれっととは何か？管轄は？
	校長	<p>フリースクールは、いわゆる民間のもの。学区内ではなく、あ</p>

		ちこちにある。
		あいばれっとは教育委員会所管の施設
学校評価 (1) 児童 保護者アン ケート	校長	例年と同等の結果。 児童の「学校に行くのが楽しい」「困ったら相談にのってくれる」の数値が高かったのは喜ばしいこと。
システムシ ート	校長	1 学びの質 子どもが楽しめる授業を念頭に置き、研修に力を入れてきた。研修は2年目であり、まとめの年である。教員の平均年齢が若いので、教員の指導力向上に力を入れて進めてきた。一人一授業の公開を進め、先生方同士での学びあいが進められた。研修のまとめをお互いに聴きあう場を作った。学びの指標の数値も一回目よりも二回目の方が向上した。しかしながら、「ICTの活用」については、数値がのびなやんだ。次年度はそのあたりに力を入れていきたい。 読書の奨励をさらに進める。キャンペーンは効果あり。貸し出し冊数は前年度より微増。 第2回学校運営協議会の場で、代表の子どもたちから声があがった、「学校図書館開放」については、長期休業中などに着手したい。
		2 心のサポートについて 今年度、校長として一番力をいれた。指導主事やスクールロイヤーなど、専門職の力を借りて、教員のスキルアップを図った。 心と生活のアンケート結果を受けた面談はもちろん、日頃から気に掛ける必要のある児童への対応について、担任がアンテナ高く対処できた。 教育相談、生徒指導にも力を入れて、職員に働きかけてきた。
		3 地域との協働 HPに力をいれた。校長自らが発信を積極的に進めてきた。がくぶりのさらなる活用も進めたい。 地域の行事への参加も意識的に行ってきた。 R8の氷川神社の祭りは、土曜日にあたるので、勤務の振替等を考えて対応していきたい。
		4 安心安全への取組 安全教育への着手 施設面について、樹木の剪定等、引き続き要望を進めていく。 用務員の力も借りながら、進めている。 下校時の様子については懸念している。全校指導、個別指導、ともに進めていく。
		5 教職員のキャリア形成について

		<p>この項目はA評価をつけた。教職員のアンケート、P7 43番「勤務時間」などへの回答がよい。ストレスチェックが昨年度比、27ポイント向上した。よい教職員集団となっている。来年度も継続していきたい。</p> <p>今年度、メンタル不調で新たに休んだ職員はいない。</p> <p>昨年度、休んでいた職員も職リハをしながら復帰に向けて取り組んでいる。</p>
◆システムシートへの質問、意見等 1について	横溝	<p>・図書の活用について</p> <p>タブレットと活字は両方大事。本のよさについて、タブレットのよさとは違う面がある。引き続き、続けてほしい。</p>
	校長	子供は難しい本が好きな子が一定いる。
	横溝	本を繰り返して読んでほしい
	丸山	みつわ会館でも本を貸し出ししている。小さな子供はきているが、小学生はあまり見かけない。学校で広く周知していただくとありがたい。協力していきたい。貸し出しも可能である。絵本が多いが、2週間の貸し出し期間があるので利用してほしい。(借りたい本の)取り寄せもできる。
	高原	学びの指標について、説明をしていただきたい。
	教頭	教員の授業について、児童からの視点で客観的に評価するシステム。「主体的な学び」や「ICTの活用」など、複数の項目があり、それぞれの項目に付随する質問に児童が4段階で評価をするものである。
	森角	<p>課題について、ICTの活用について、文科省では、どこで使うかを示している。数値にとらわれることなく、効果的な活用が大切。</p> <p>図書の貸し出しについて、中学校でも課題である。読み聞かせなど、小中学校の連携をはかりたい。</p>
2について	高原	<p>そらルームについて。学校によっては、保護者との面談を経て利用するケースもある。上小小学校はどうか？</p> <p>また、ボランティア等の配置はあるのか。もし、手一杯であれば、地域の力を貸したい。</p>
	校長	<p>クールダウンで使用する場合もある。</p> <p>給食だけ、そらルームで食べる児童もいる。</p> <p>人の配置は行っていない。校長が入っている。</p>
	横溝	スクールロイヤーは、学校の相談に乗るだけで、直接、保護者とのやり取りはあるのか。
	校長	保護者と直接やり取りするというケースはない。校長、教頭が相談をするケースがほとんど。

	教頭	上小小学校も、今年度、法務相談をかけている。
3について	横溝	アンケート結果をみても、地域とのつながりは活発になっていることがうかがえる。地域とつながっているという実態がアンケート結果に直結するものではないが、嬉しい結果になっている。
	丸山	今年度、学校とのつながりが増えた。書初め教室などで来館してくれている。教育委員会の施設ではないが、今後もよろしく願いいたします。
	高原	民生、児童には、三橋地区のイベントにも参加してほしい。大宮区では、育成会の母体が学校ごとにない現状である。本校は、地区は三橋だが、進学先は桜木なので、三橋地区への参加が少ない。
4について	横溝	下校時について。心が開放されて、一列に帰れない。
	校長	PTA もしよっちゅう声をかけて、注意喚起をしている。 下校時に、教員が立つようになっている。
	吉野	交通安全についての意識には、地域性の違いがあると感じている。(私が生まれ育った田舎では、) 青信号でも細心の注意をはらうように、小さいころからしつけられている地域もある。本校は交通事故等も少ないのか、地域性もあるのか、横断歩道のわたり方をみても、交通安全への意識が高くないように感じる。
5について	校長	着任早々、風通しのよい職場にすることへの意識を管理職で意識共有をした。
	横溝	(ストレスチェックについて) 教員は無記名なのか。とてもよい結果で、力の源になるのでよいのでは。 教員研修で、グループで取り組んだのはよかったのでは。少人数だからこそ、情報交換がしやすい雰囲気づくりができて、よい。ぜひ、グループでの研修はこれからもすすめてほしい。
	森角	ストレスチェックが、向上したのがよい。 ICTの活用と、業務改善はどこまで効果があるのか。 中学校は、成績処理で少し効果があった。 他県の事例では、出席等も自動で入力されるシステムもあるが、そのあたりも着手してもらえると、さらに業務改善が進むのでは。 学年会の設定が、小学校と中学校では差がある。
R8 学校経営方針	校長	P1：学校自己評価システムシートに合わせて、項目の入れ替えをしている。 P2：(1)は、シートの1にあたる、(2)がシートの2、、、となる。 P3：(2)に、特別支援教育の充実を新設。

		<p>(3) はシェイクアウト訓練を追加。</p> <p>(4) は新設項目</p> <p>(5)、(6) もそれぞれ赤字の部分が追記となる。</p> <p>大きな変更はありませんが、何か御意見があればお寄せいただきたい。</p>
質疑応答	富田	システムシートの項目1については、学校はよくやっていると感じるので、達成度はBではなく、Aをあげてもよいと思っている。
閉会		